

令和元年度ブロック研修会報告書

ブロック名 南関東・東京ブロック

令和元年度ブロック研修会の実施結果について、下記のとおり報告します。

研修テーマ	地域に責任を持った活動の強化 「災害に強いまちづくり ～地域をつなぐ保健師が目指す地域共生社会～」
開催日時	令和元年9月29日（日） 10時～15時30分
会場	名称：TKP千葉駅東口ビジネスセンター 住所：千葉県千葉市中央区新町1-20 江澤ビル4階
参加人数	(133人) ※講師・発表者・運営役員・研究報告者・傍聴者を含む。
研修の概要	1 全国保健師長会 40周年記念スライドショー上映 2 全国保健師長会活動について 副会長 堀田 彰恵 氏 3 調査研究班報告 福島県保健福祉部障がい福祉課 課長 遠藤 智子 氏 4 実践報告 ① 「横浜市防災計画への参画 ～災害時の保健活動の位置づけ～」 横浜市健康福祉局地域福祉保健部 福祉保健課 人材育成担当課長 飛田 千絵 氏 ② 「地域づくりフォーラム ～わが事・丸ごと地域づくり～」 松戸市福祉長寿部 高齢者支援課 保健師長 長島 朋子 氏 5 講演 「災害に強いまちづくり ～地域をつなぐ保健師が目指す地域共生社会～」 千葉大学大学院看護学研究科 教授 宮崎 美砂子 氏
参加者の感想など	<ul style="list-style-type: none">・9月9日に発生した台風15号による影響で、千葉県東葛地域を除く県全域において被害が発生し、被災地域への支援が継続して行われている最中であったものの、災害をテーマとした研修企画であり関心が高いことから開催に至った。・千葉大学大学院 宮崎教授の講演では、厚生労働省が基本コンセプトとする地域共生社会の実現に向けた改革が、これまでの保健師活動を後押しするものであること、また、これからますます「我が事」・「丸ごと」の理念に沿った活動を進めていくためのヒントをいただいた。災害時の二次的被害を想定し、健康を保持して復興復旧に向かうことへの着目点や問題意識を持ち続け、住民とともに真の問題に向き合っていくことの重要性を学んだ。・実践報告では、防災計画への参画により、保健活動を組織体制に組み込み実践している活動は、目指したい理想的な体制づくりとして大変参考になった。また、災害をテーマとした地域づくりフォーラムの実現は、住民とともに作り上げた地域力を上げる取組みであり、共に活動していくことの素晴らしさを感じた。・情報交換では、被災地においてマニュアルがあっても判断が難しかった。要支援者名簿の管理等の課題が提起され、宮崎教授から、災害が起こるたびに新たな教訓が生まれること、地域住民や関係者と問題を掘り下げ活動を継続していくことなど助言を頂いた。・終了後のアンケートからも満足度の高い研修となった。